

とうきょう すくわくプログラム活動

園名	杉並大宙みたけ保育園
活動日時	令和6年8月26日
クラス名(年齢)	3歳児クラス
活動テーマ	自然との関わり

<テーマの設定理由>

昨年度に園庭の整備を行い、園庭中央に樹木や荒木田土を使用した築山を設置し、土や草木、畑の整備等、環境を改善したところ子どもたちの遊びに変化が見られた。以前よりも自然物に興味を持ち、職員や友だち同士での対話や関わりが増えたので、子どもたちの遊びの中心である園庭での自然をテーマとして探求活動を進めた。

1、活動スケジュール

- ・土、砂に触れてみよう（各30分）

2、活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・カップ、バケツ、シャベル
- ・水
- ・子どもたちが活動しやすいよう周りの玩具を片づけ環境を整えた。

3、探求活動の実践（活動内容）

- ・園庭の砂場の砂や築山の土に触れ、自由に遊ぶ
- ・土や砂に触れ、色や重さ、感触の違いに気付く
- ・水を取り入れ、土や砂のいろいろな形状の変化を楽しむ

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
・「お山のところまで、線を描くよ」「もっとこっちまで長くつなげて」と、数名で協力しながら描いていた。 ・友だちと一緒に砂場からシャベルで掘り出し、線を作る ・バケツに入った水を線の上へ流す。 ・水が流れていく様子に歓声をあげたり、面白さに繰り返し水を流すことに夢中になっていた ・「川になったよ」と友だちや保育者に伝え合っていた	  

4、振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

砂場から水を使うことにより、清涼感を感じながら活動が展開されていた。友だち同士で砂に線を描く、広げる、水を流すといった遊びが「川」というイメージに繋がり、作り上げる喜びが子どもたちの表情から感じられた。子どもの遊びの様子から当初予定していた時間よりも長く活動し、その結果、満足した表情で遊び終えることができた。時間配分や設定など配慮していくことも大切だと学んだ。